# 天目山茶会

石庭会館　　薄茶席
石庭東屋　　野点席
庫　裏　　受付・待合

**※雨天時等変更の場合あり**

〈会　期〉
令和元年6月2日（日）
午前9時～午後3時
〈会　場〉
栖雲寺境内
御香料　1,000円
※先着100名限定

# 宝物風入れ展

一年に一度
三日間限定の
文化財特別公開

令和元年 11月 8日（金）～10日（日）　9時～15時　志納600円

## 囲炉裏カフェ

8日～10日　毎日開催
住職が心を込めて手作りした精進菓子でおもてなし。楽しくお話ししましょう。

## 蕎麦切り奉納

9日のみ開催　午前10時
参拝者所願成就　大般若祈祷
引続　新蕎麦のふるまい

## ドラマチック栖雲寺

8日、10日の10時と13時
住職による、寺宝を用いたお寺の歴史説明と境内案内。

## 法話スペシャル

9日のみ開催　初回10時30分
以後毎時0分、30分スタート
建長寺派布教師の「たからもの」をテーマにした20分法話。

---

栖雲寺たより

# 天　目

第２９号

発行日
令和元年　５月１日

光陰矢のごとし、栖雲寺住職を拝命し今年の3月31日で丸10年が経ちました。たよりも年3号ペースで発行してきたので、今号で29号を数えます。またインターネットでの布教活動をと始めたブログ「住職日単」では、和尚の日常をありのままに日誌として公式ホームページに掲載し、10年間ほぼ休みなく書き続ました。文字では伝わりにくいことや誤解も多く批判的な意見もいただきましたが、自分が歩んだ軌跡を残して本当によかったと思っております。振り返ると、住職就任の年に長男が生まれ、その三ヶ月後には祖母が他界。また当初は鎌倉から片道約４時間の栖雲寺は日帰りなどできない場所でしたが、檀信徒の法要だけではなく、禅寺の和尚としての最低限と自ら誓い、希望者がいれば少人数であっても坐禅会だけは行ってきました。その後圏央道の開通が半分の片道２時間、日帰りでの往復を可能にし、坐禅会や企業研修、境内案内、小学校行事などを少し無理してでも受けるようになり、その便利さのおかげでかえって忙しくなった気もします。22年にはマニ像絵画とニューヨークへ、23年には業海和尚が700年前に修行された中国の天目山にも参拝。26年には百年に一度の大雪で2メートルの積雪、28年には武田信満公六百年忌、そして毎年の宝物展や茶会、テレビドラマや旅番組の撮影など書き尽くせません。諸行事を通じて人との縁も大きく膨らみました。

これだけのことができたのは檀家さんのご理解とご協力あってのことです。私の好き勝手な提案に、いつも気持ちよく手を貸してくれる応援団でいてくれました。心から感謝しております。

栖雲寺住職10年の節目、鎌倉での生活が僧堂を含めて20年の節目、建長寺では財務部長2期8年の任期が満了となる節目、そして何より元号が平成から令和に変わった大転換の節目です。そんな環境の中、自分自身は変わった方がいいのか、それともこれまで通りがいいのか、答えの出ない禅問答、自問自答の日々ですが、でも心だけは輝く節目を付けて新時代のスタートを切りたいと思います。

思い返すと、平成の時代は情報化が著しく発展した時代でした。昭和や平成初期、情報は自分で苦労して収集しましたが、現代は必要としない、むしろ害のある情報までもが望んでもいないのに転がりこんで来る時代。その情報スピードに心が追いついていけないのを実感いたします。

過疎化の進む限界集落、経済的にも困窮している地方寺院の明るい未来を夢見て、令和の時代は、誇りある栖雲寺を、田舎のお寺を盛り上げていくことに全力を尽くしたいと思います。そして檀家さんや参拝者との交流をさらに深め、共に坐禅をし、心を寄せ合い、情報化社会・格差社会・学歴社会・無縁社会・・・悩み多きこの時代で、そんな生活に疲れた人々の癒しの場をプロデュースするお寺を創っていきたいと考えております。

とは言え体力的にも鎌倉との往復が正直厳しく感じる年齢。永泰寺住職である実父も高齢でそちらを荷担する時間も益々増えるでしょう。うまくバランスを取りながら自分の時間も見つけ、令和年間は少しスローペースでお寺運営をしていきたいとも思っております。

みんなが少しずつ持ち寄った笑顔や幸せが大きな大きな福になる、そんな天目山栖雲寺を目指しますので、今後も末永く応援していただきたく、伏してお願い申し上げます。

令和はどのような時代になっていくのでしょうか。皆様にとりましても幸多き時代となりますように心よりお祈り申し上げます。

住職　青柳真元　　合掌

臨済宗建長寺派　天目山 栖雲寺　　住職　青柳真元
〒409-1201　山梨県甲州市大和町木賊122　TEL　0553-48-2797
http://www.tenmokusan.or.jp [栖雲寺]で検索　ブログ毎日更新

# 《近況報告》

## 天台山参拝

円覚寺派管長の横田南嶺老師を団長とした杭州天台山参拝旅行に随行。本山などが企画する長期旅行は時間もお金もかかり参加が難しい、それでもお参りしたい。そんな和尚様方で結成した参拝団です。参拝予定寺院を聞いた旅行会社もビックリ仰天2月11日～13日の2泊3日弾丸ツアー。

拙僧、事務局から副団長に任命されるも、これといって何の役も果たさずに旅行を堪能し、完全なる管長猊下の随行者と成り下がりました。

天童寺、栄西禅師も修行された天台山、700年前に栖雲寺開山業海本浄禅師も拝塔したであろう杭州の五山霊隠寺と浄慈寺など、当時の禅僧たちに思いを巡らせながら、所得の多い貴重な研修旅行となりました。

栄西禅師も渡った石梁

## 円覚寺派管長猊下御来山

北鎌倉駅前にある大本山円覚寺。その管長様、横田南嶺老師が天台山でのご縁もあり2月27日に栖雲寺を参拝されました。住職になって10年、建長寺派以外の管長様をご案内したのは初めての事です。石庭の最上段から最東端、磨崖仏に憤怒岩、くまなく歩かれ「これは本当に来てよかった」と感動のお言葉を頂戴しました。

中峰明本・業海本浄　両祖師の真前で読経をご一緒させていただいた感動は、一生忘れる事のできない思い出です。禅僧としてのこれからの活動に向けて、大きな励みとなりました。

## 次男の得度式

平成29年の長男に続き、本年3月29日、建長寺龍王殿において次男が得度式に参加いたしました。吉田管長様から受戒の証を頂戴し、袈裟を掛けてもらい、お坊さんの仲間入りです。

うそをつかない、物を盗らない、命を大切に・・・など

当たり前のことだけど大事なことを、これからもしっかりと守ることを管長様と約束しました。

## 桜満開の摩利支天大祭

4月21日(日)に鎮守（ちんじゅ＝お寺を護る神様）である摩利支天様の大祭が行われました。

ちょうど10年前の大祭では、その日に合わせて檀家さんが私の栖雲寺入寺式をしてくださいました。その時も満開の桜に歓迎してもらいましたが、実はそれ以来、摩利支天大祭で咲いたことは一度もなく、毎年つぼみを眺めておりました。

住職10年の節目で満開になった枝垂桜を見て、とても幸せな気持ちになりました。

## 美感（みかん）の智恵　by　寺庭婦人

この春　次男が保育園を卒園しました

子どもにとって保育園は初めての集団生活

親である私も初めて尽くしのお付き合い

たくさんの失敗もありましたが

子どもと共に楽しみながら成長できたかなあと感じます

こどもを通じて多くのご縁をいただきました

信頼できる恩師や子育て仲間と出会えました

親が子を育てている

親が子に育てられている

そう感じる毎日です